

平成30年

鳥取県人口移動調査結果
【平成30年1月～12月】

平成31年2月26日公表

鳥取県地域振興部統計課

目 次

用語の説明	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	
I 鳥取県の人口動態	
1 概況	3
2 自然動態	
(1) 自然動態の推移	3
(2) 月別自然動態	4
3 社会動態	
(1) 社会動態の推移	4
(2) 月別社会動態	5
(3) 地域別、男女別社会動態	5
(4) ブロック別の県外転入・転出	7
(5) 都道府県別転入・転出超過数	7
(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態	8
II 市町村別人口動態	
1 人口増減	9
2 自然動態	
(1) 市町村別自然動態	9
(2) 月別自然動態	11
(3) 男女別自然動態	11
3 社会動態	
(1) 市町村別社会動態	12
(2) 県内移動	13
(3) 県外転入・県外転出	14
(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出	15
<参考>外国人の人口動態	18
参考資料	
1 鳥取県の人口動態の推移 (S30～H30)	19
2 年齢10歳階級別県外転入者数の推移 (H10～H30)	20
3 年齢10歳階級別県外転出者数の推移 (H10～H30)	21
4 県外転出入者数の推移 (平成30年移動者総数上位6都道府県)	22

用語の説明

1 動態

- (1) 人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
- (2) 自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
- (3) 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2 移動

- (1) 移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
- (2) 実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
- (3) 県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
- (4) 県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
- (5) 県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
- (6) 県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
- (7) 転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3 出生率及び死亡率

- (1) 出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
- (2) 死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4 移動者の年齢

平成30年10月1日現在の満年齢による。

5 自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6 自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7 社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8 社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9 ブロック別区分

北海道…北海道

東北…青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

10 地域別区分

東 部…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

中 部…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西 部…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

11 市郡別

市 部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

郡 部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利 用 上 の 注 意

- 1 鳥取県人口移動調査は、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。
- 2 人口及び世帯の移動数は、平成30年1月から平成30年12月までの年間数値であり、市町村表記は平成30年12月現在のもので記載している。

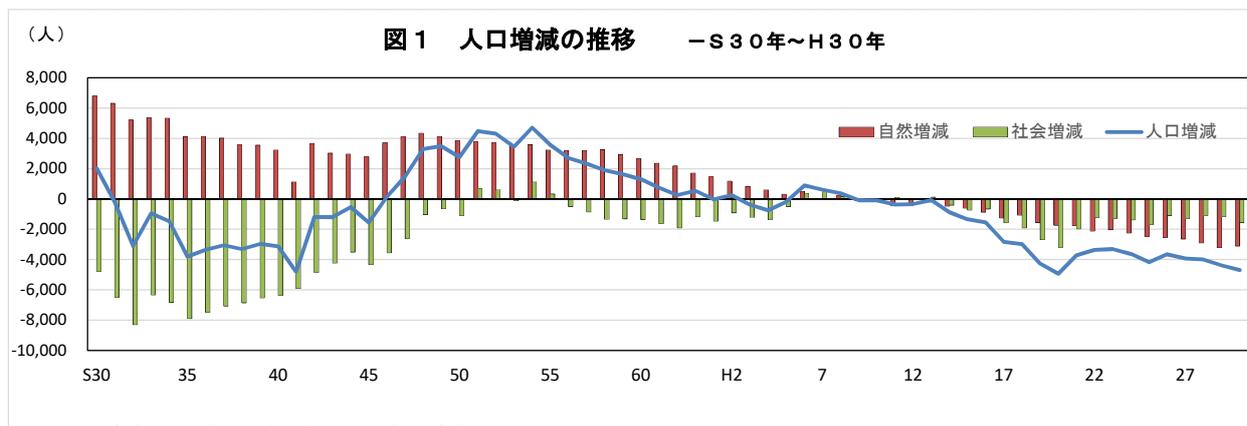
調査結果の概要

I 鳥取県の人口動態

1 概況

1年間の人口動態は、自然動態、社会動態ともに減少し、前年に比べ304人減少数が拡大した。

平成30年（1月～12月）の1年間の人口動態をみると、自然動態は3,117人減、社会動態は1,572人減、合計4,689人の減少となり、前年と比べると、減少数が304人拡大した。（図1、統計表第1表）



2 自然動態

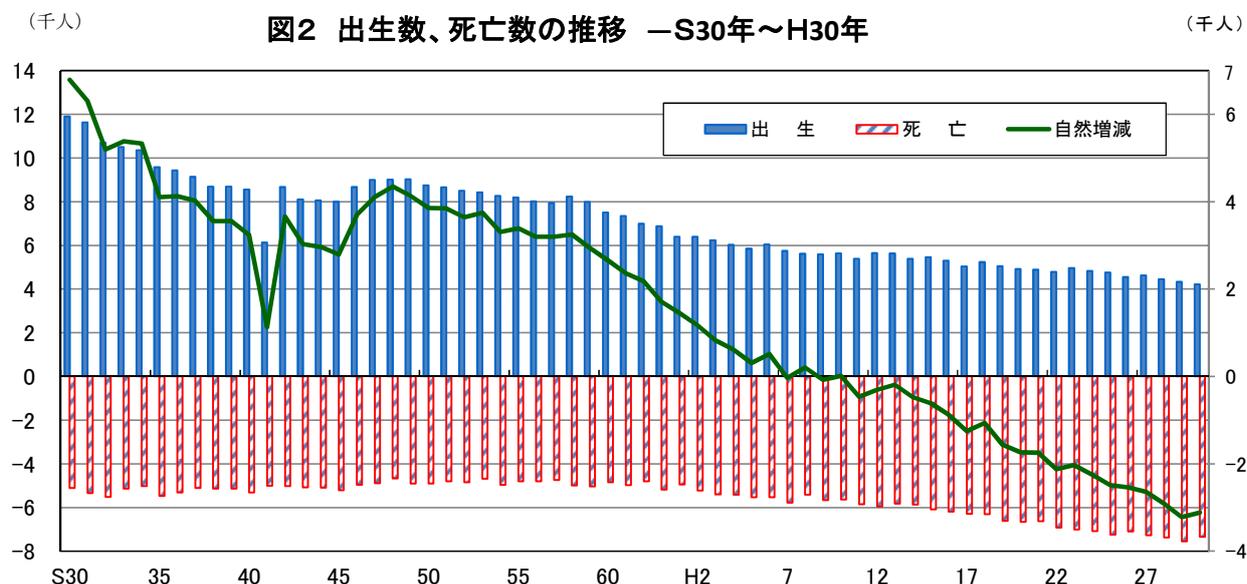
(1) 自然動態の推移

自然増減数は、3,117人減少し、20年連続の減少となった。

出生数は昭和30年（11,901人）以降減少傾向となり、昭和35年からは9,000人台、昭和62年からは6,000人台、平成5年からは5,000人台、平成20年からは4,000人台となり、平成30年は4,223人で前年と比べると106人減少した。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後を推移していたが、それ以降は増加傾向となっている。平成15年からは6,000人台、平成23年からは7,000人台となり、平成30年は7,340人で前年と比べると210人減少した。

自然増減数は3,117人の減少で前年と比べ減少数は104人縮小したが、20年連続の減少となった。（図2、統計表第1表）



(2) 月別自然動態

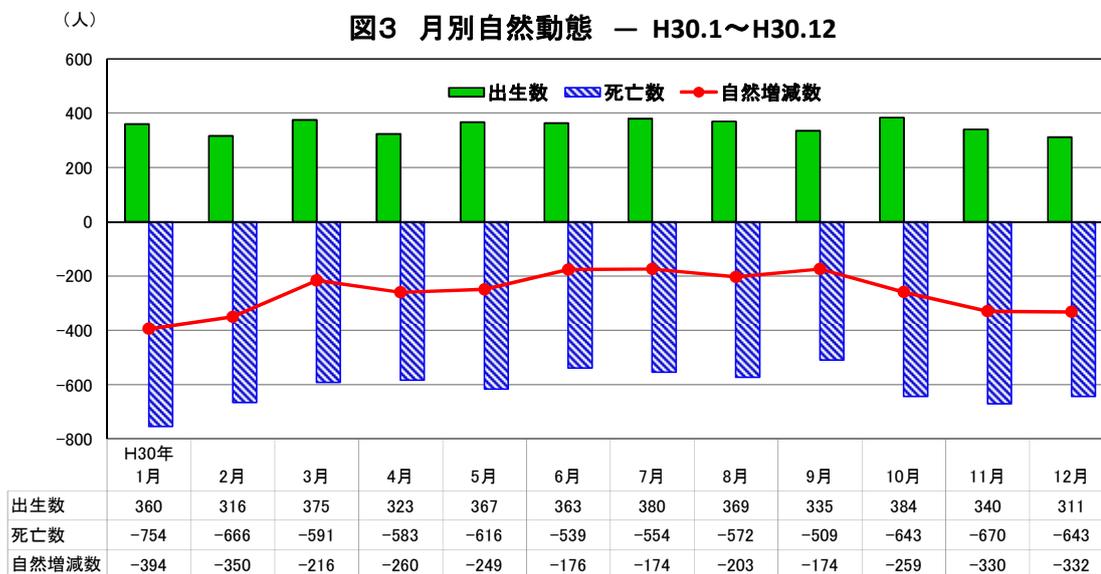
自然増減数はすべての月で減少となり、1月の減少数が最も多い

月別にみると、出生数は10月が384人(出生総数に占める割合9.1%)と最も多く、次いで7月が380人(同9.0%)、3月が375人(同8.9%)となった。

死亡数は1月が754人(死亡総数に占める割合10.3%)と最も多く、次いで11月が670人(同9.1%)、2月が666人(同9.1%)となった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は1月が394人と最も多かった。

(図3、統計表第2表)



3 社会動態

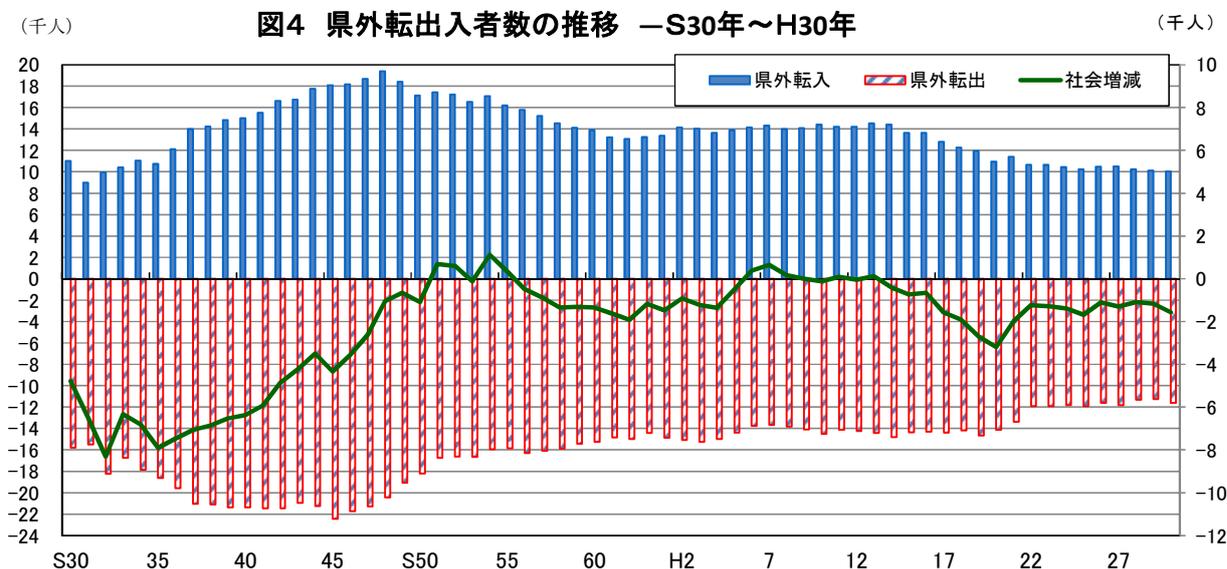
(1) 社会動態の推移

社会増減数は、1,572人減少し、17年連続の減少となった。

平成30年(1月~12月)の県外転入者は10,037人、県外転出者は11,609人で社会増減数は1,572人減少し、県内の市町村間を移動した者(県内移動者)は6,226人で実移動者総数は27,872人となった。

前年に比べると、県外転入者が57人減少、県外転出者が351人増加し、社会増減の減少数が408人拡大した。また、県内移動者が53人減少し、実移動者総数が241人増加した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和48年の19,395人、県外転出者は昭和45年の22,438人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成14年以降17年連続で減少した。(図4、統計表第1表、統計表第4表)



注) 各年の数値は1月~12月の集計による。

(2) 月別社会動態

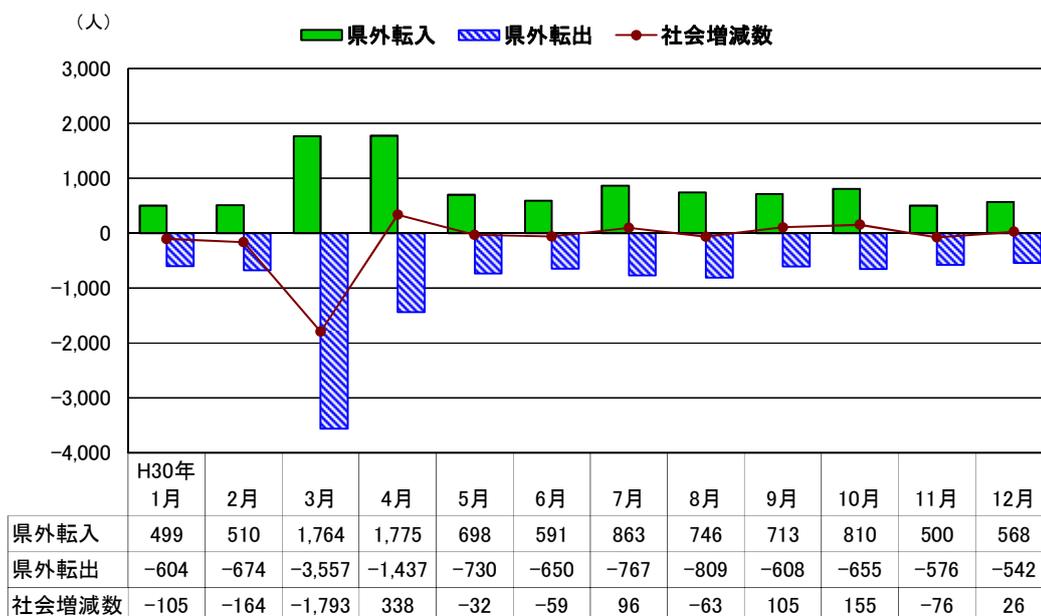
3月及び4月の2か月間で、年間実移動者総数の38.9%を占める

月別にみると、県外転入者は4月が1,775人（県外転入者総数に占める割合17.7%）と最も多く、次いで3月が1,764人（同17.6%）、7月が863人（同8.6%）となった。

県外転出者は3月が3,557人（県外転出者総数に占める割合30.6%）と最も多く、次いで4月が1,437人（同12.4%）、8月が809人（同7.0%）となった。

この結果、4月が338人増加し、3月は1,793人減少し、この2か月間で年間実移動者総数の38.8%を占めている。（図5、統計表第3表）

図5 月別県外転出入者数 — H30.1月～H30.12月



(3) 地域別、男女別社会動態

県外転入者数は島根県が1,284人、県外転出者数は大阪府が1,278人と最も多い

地域別（都道府県別）にみると、県外転入者は島根県が1,284人（男性672人、女性612人）と最も多く、次いで大阪府が992人（男性524人、女性468人）、岡山県が934人（男性499人、女性435人）となった。

県外転出者は、大阪府が1,278人（男性594人、女性684人）と最も多く、次いで島根県が1,274人（男性676人、女性598人）、東京都が1,102人（男性605人、女性497人）となった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は島根県が672人と最も多く、次いで大阪府が524人、岡山県が499人となり、県外転出者は、島根県が676人と最も多く、次いで東京都が605人、大阪府が594人となった。

女性の県外転入者は島根県が612人と最も多く、次いで大阪府が468人、岡山県が435人となり、県外転出者は、大阪府が684人と最も多く、次いで島根県が598人、東京都が497人となった。

（図6-1、図6-2、図6-3、統計表第9表）

図6-1 従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位15都府県(総数)

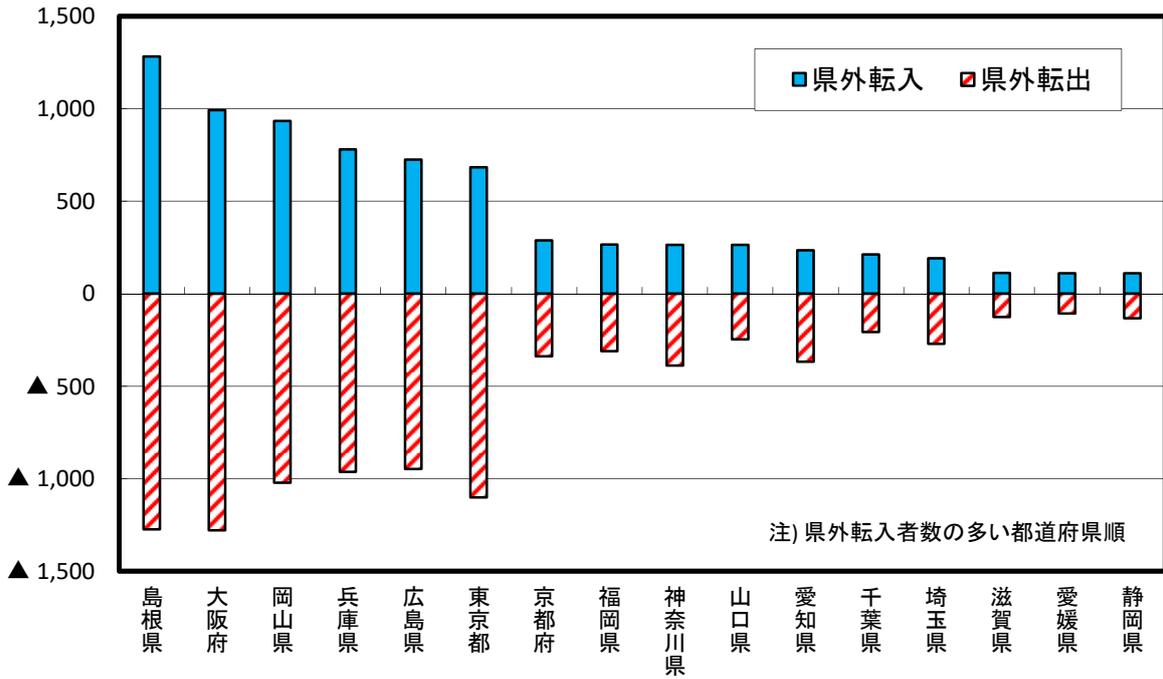


図6-2 従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位10都府県(男)

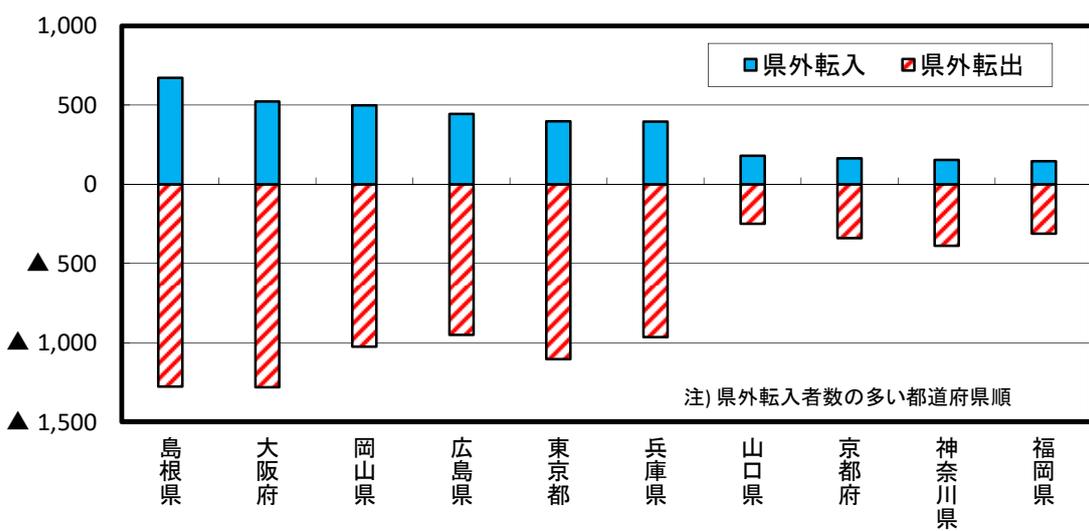
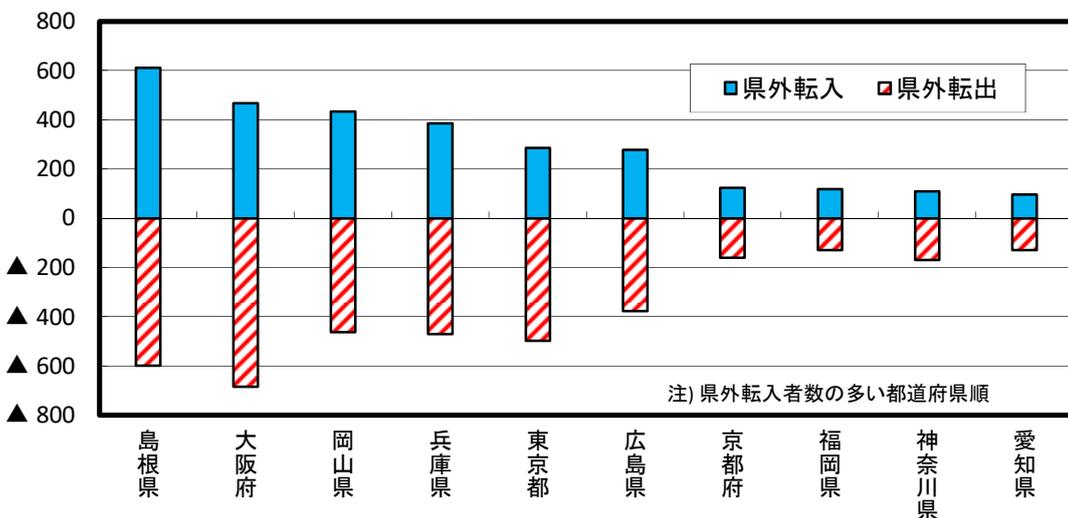


図6-3 従前の住所地及び転出地の都道府県別転入・転出者数上位10都府県(女)



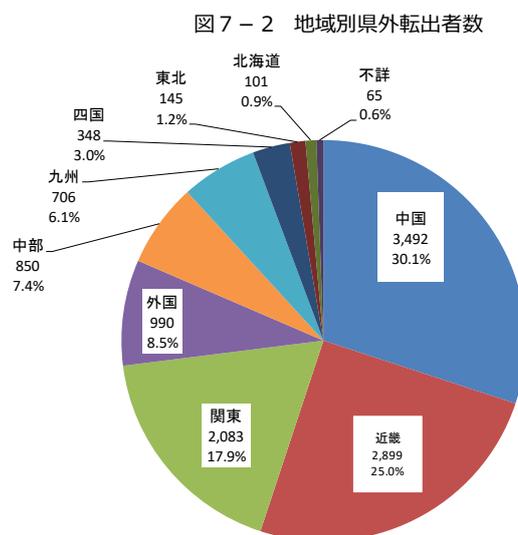
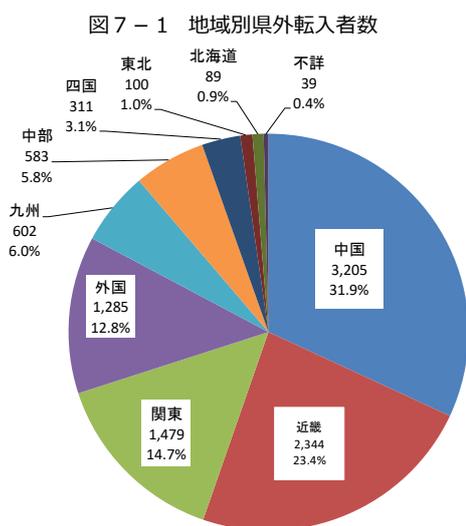
(4) ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

地域別（ブロック別）にみると、県外転入者は中国ブロックが3,205人（男性1,799人、女性1,406人）で最も多く、次いで近畿ブロックが2,344人（男性1,228人、女性1,116人）、関東ブロック1,479人（男性872人、女性607人）となった。

県外転出者は、中国ブロックが3,492人（男性1,965人、女性1,527人）で最も多く、次いで近畿ブロックが2,899人（男性1,439人、女性1,460人）、関東ブロック2,083人（男性1,152人、女性931人）となった。

(図7-1、図7-2)



注) 全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 中部: 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国: 鳥根、岡山、広島、山口
- 四国: 徳島、香川、愛媛、高知
- 九州: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(5) 都道府県別転入・転出超過数

転入超過数は和歌山県が22人、転出超過数は東京都が418人と最も多い

転入超過となったのは11県で、転入超過数は、和歌山県が22人（男性6人、女性16人）と最も多く、次いで山口県が16人（男性25人、女性-9人）、栃木県が15人（男性10人、女性5人）となった。

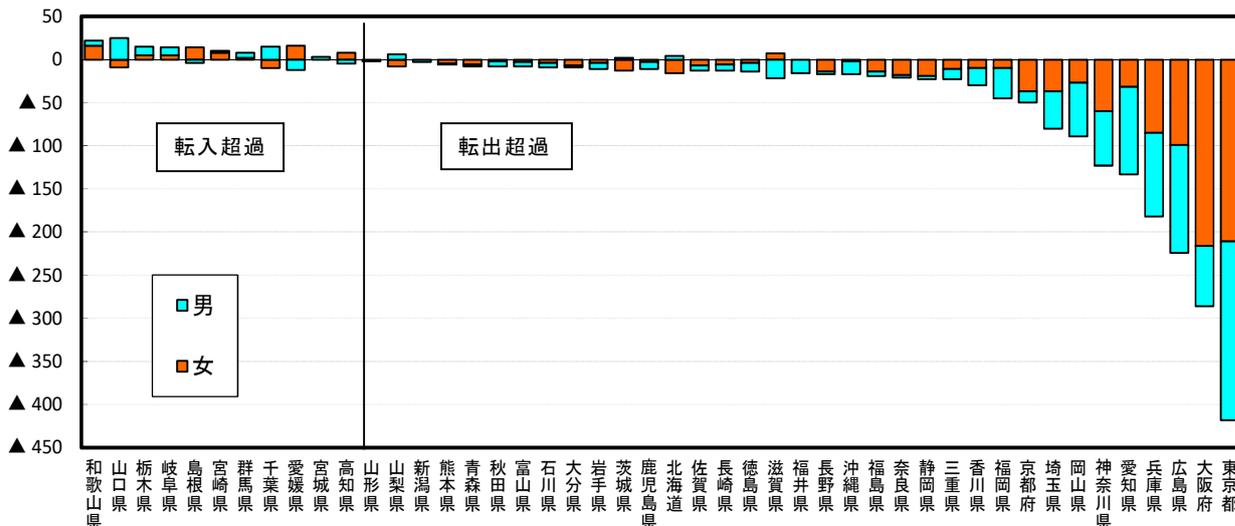
転出超過となったのは35県で、転出超過数は、東京都が418人（男性207人、女性211人）と最も多く、次いで大阪府が286人（男性70人、女性216人）、広島県が224人（男性125人、女性99人）となった。

男女別の転出超過数は、男性が東京都（207人）、広島県（125人）、愛知県（101人）、兵庫県（97人）、大阪府（70人）の順に多く、女性は大阪府（216人）、東京都（211人）、広島県（99人）、兵庫県（85人）、神奈川県（60人）となった。

(図8、統計表第9表)

(人)

図8 都道府県別転入超過数(男女別)



(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態

60～64歳が最も増加し、20～24歳が最も減少

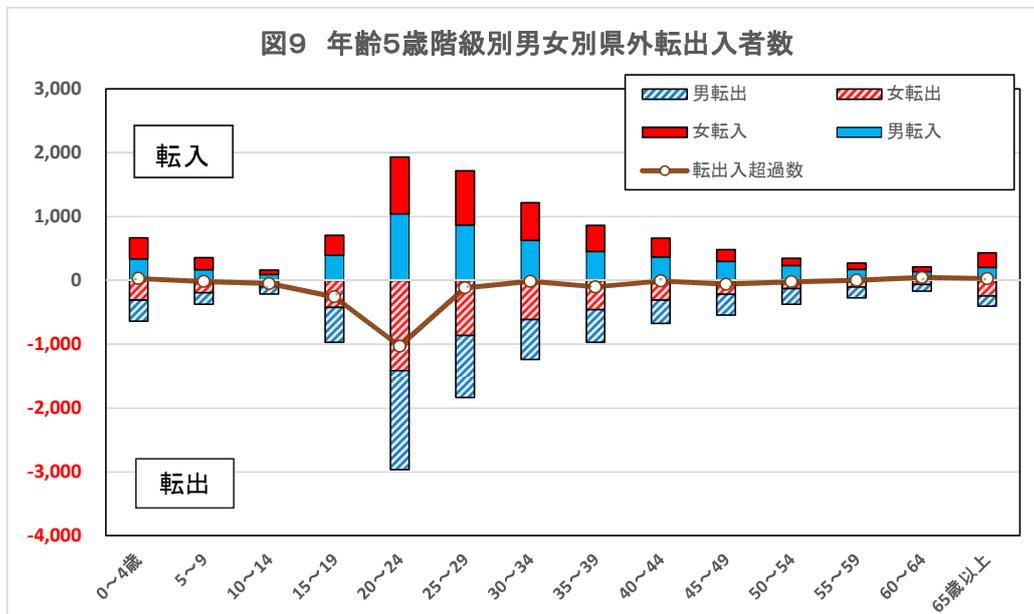
年齢5歳階級別にみると、県外転入者は20～24歳が1,934人(男性1,047人、女性887人、県外転入者総数に占める割合19.3%)と最も多く、次いで25～29歳が1,718人(男性866人、女性852人、同17.1%)となった。

県外転出者は、20～24歳が2,963人(男性1,552人、女性1,411人、県外転出者総数に占める割合25.5%)と最も多く、次いで25～29歳が1,835人(男性974人、女性861人、同15.8%)となった。

また、年齢5歳階級別の社会動態を男女別にみると、県外転入者は、男女とも20～24歳が最も多く、男性1,047人(男性の県外転入者総数に占める割合19.4%)、女性887人(女性の県外転入者総数に占める割合19.2%)となり、次いで男女とも25～29歳が多く、男性866人(同16.0%)、女性852人(同18.4%)となった。

県外転出者は、男女とも20～24歳が最も多く、男性1,552人(男性の県外転出者総数に占める割合25.1%)、女性1,411人(女性の県外転出者総数に占める割合26.1%)となり、次いで男女とも25～29歳が多く、男性974人(同15.7%)、女性861人(同15.9%)となった。

県外転入転出により、60～64歳が46人(男性35人、女性11人)と最も増加し、20～24歳が1,029人(男性505人、女性524人)と最も減少、20～34歳で年間実移動者総数の48.9%を占めている。(図9、統計表第4表、統計表第10表)



II 市町村別人口動態

1 人口増減

日吉津村を除くすべての市町で人口が減少

平成30年（1月～12月）の1年間の市町村別の人口増減をみると、増加したのは日吉津村の11人（自然増加2人、社会増加9人）で、他の18市町は減少し、最も減少したのは鳥取市の1,499人（自然減少771人、社会減少728人）で、次いで倉吉市が495人（自然減少314人、社会減少181人）、米子市が329人（自然減少341人、社会増加12人）、境港市が297人（自然減少224人、社会減少73人）であった。

また、増減率を見ると、増加したのは日吉津村の0.31%で、他の18市町は減少し、最も減少したのは智頭町の3.43%で、次いで日野町が3.21%、江府町が2.93%、日南町が2.88%であった。（表1）

表1 市町村別人口増減

(単位：人)

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	4,223	7,340	-3,117	16,263	17,835	-1,572	-4,689	-0.83
鳥取市	1,442	2,213	-771	4,681	5,409	-728	-1,499	-0.78
米子市	1,321	1,662	-341	5,072	5,060	12	-329	-0.22
倉吉市	364	678	-314	1,367	1,548	-181	-495	-1.03
境港市	227	451	-224	1,268	1,341	-73	-297	-0.89
岩美町	63	180	-117	329	367	-38	-155	-1.38
若桜町	12	69	-57	86	107	-21	-78	-2.51
智頭町	37	148	-111	125	250	-125	-236	-3.43
八頭町	87	236	-149	412	429	-17	-166	-1.01
三朝町	30	102	-72	148	170	-22	-94	-1.50
湯梨浜町	127	254	-127	535	461	74	-53	-0.33
琴浦町	133	295	-162	405	518	-113	-275	-1.62
北栄町	92	183	-91	364	427	-63	-154	-1.06
日吉津村	33	31	2	214	205	9	11	0.31
大山町	89	264	-175	427	464	-37	-212	-1.32
南部町	60	166	-106	289	378	-89	-195	-1.81
伯耆町	72	168	-96	292	348	-56	-152	-1.40
日南町	10	107	-97	100	130	-30	-127	-2.88
日野町	12	81	-69	82	112	-30	-99	-3.21
江府町	12	52	-40	67	111	-44	-84	-2.93

2 自然動態

(1) 市町村別自然動態

自然増減数は日吉津村を除くすべての市町で減少

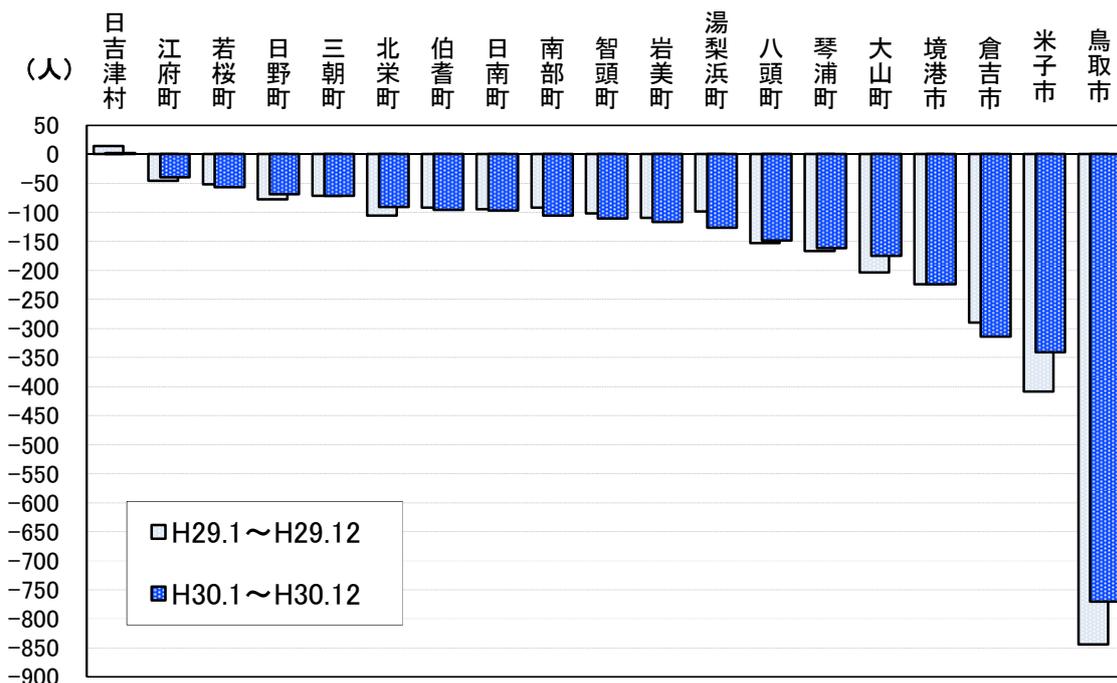
自然増減数を市町村別にみると、日吉津村を除くすべての市町で減少した。

増加したのは日吉津村が2人（出生数33人、死亡数31人）、減少したのは鳥取市が771人（出生数1,442人、死亡数2,213人）と最も多く、次いで米子市が341人（出生数1,321人、死亡数1,662人）となった。

自然増減率（対1,000人比）は日吉津村が0.6‰増加、その他の市町は減少で、日野町が23.0‰と最も高く、次いで日南町が22.5‰となった。

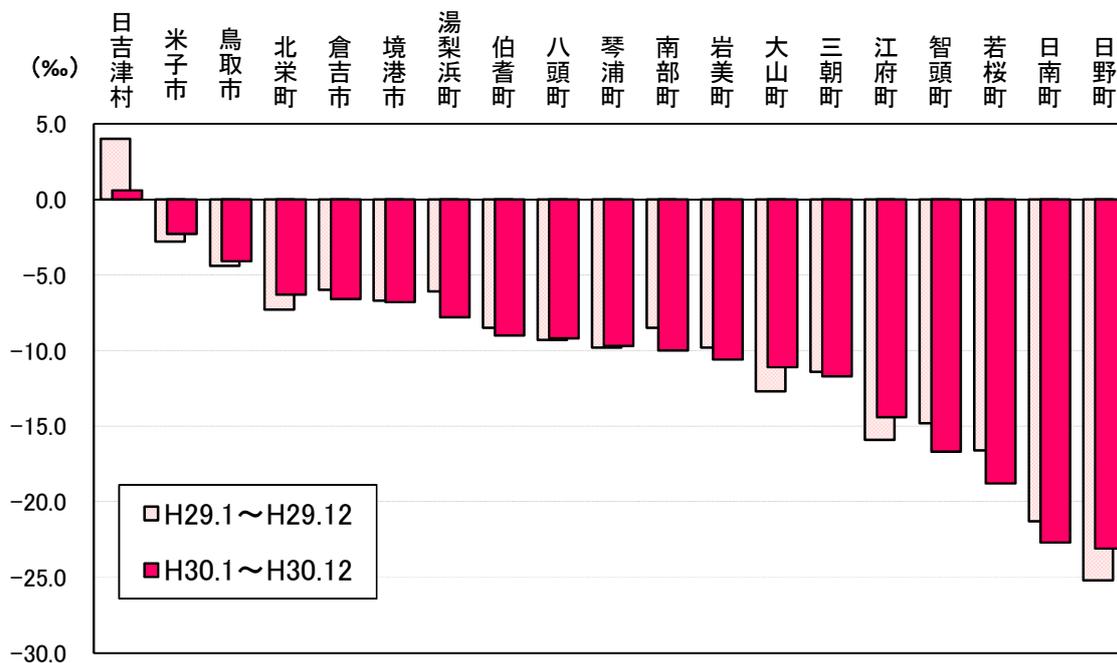
（図10-1、図10-2、統計表第6表）

図10-1 市町村別自然増減数



※各年の数値は1月～12月の集計による

図10-2 市町村別自然増減率



※各年の数値は1月～12月の集計による

(2) 月別自然動態

出生数は10月の鳥取市の146人、死亡数は11月の鳥取市の208人が最も多い。

月別にみると、出生数は10月の鳥取市の146人（総出生数に占める割合3,5%）が最も多く、次いで7月の鳥取市の137人（同3,2%）、3月の鳥取市の128人（同3,0%）となった。

死亡数は11月の鳥取市の208人（総死亡数に占める割合2,8%）が最も多く、次いで1月の鳥取市の205人（同2,8%）、2月の鳥取市の201人（同2,7%）となった。

（表2）

(3) 男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市が749人と最も多く、次いで米子市が716人、倉吉市が182人、境港市が128人であった。死亡数は、鳥取市が1,100人と最も多く、次いで米子市が798人、倉吉市が340人、境港市が233人であった。

女性の出生数は鳥取市が693人と最も多く、次いで米子市が605人、倉吉市が182人、境港市が99人であった。死亡数は、鳥取市が1,113人と最も多く、次いで米子市が864人、倉吉市が338人、境港市が218人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では日南町及び江府町の5人、女性では日南町及び日野町の5人、死亡数は、男性では日吉津村の12人、女性では日吉津村の19人であった。

（表2、統計表第6表）

表2 月別男女別自然動態 —H30年1月～H30年12月—

（単位：人）

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県計	出生数	男	2,208	173	162	189	176	206	201	188	174	186	192	189	172
		女	2,015	187	154	186	147	161	162	192	195	149	192	151	139
	死亡数	男	3,584	371	314	296	297	293	295	284	273	242	288	322	309
		女	3,756	383	352	295	286	323	244	270	299	267	355	348	334
東部地区	出生数	男	851	64	58	83	64	73	73	74	67	75	85	70	65
		女	790	79	57	61	51	66	56	86	77	61	81	63	52
	死亡数	男	1,416	148	124	121	123	113	127	113	87	97	116	133	114
		女	1,430	129	145	113	105	122	95	98	112	104	140	127	140
中部地区	出生数	男	373	29	28	32	28	34	34	29	29	39	30	31	30
		女	373	38	25	36	33	28	30	31	35	27	31	29	30
	死亡数	男	735	78	58	70	59	55	59	62	59	47	69	53	66
		女	777	87	58	81	58	64	52	51	54	54	70	77	71
西部地区	出生数	男	984	80	76	74	84	99	94	85	78	72	77	88	77
		女	852	70	72	89	63	67	76	75	83	61	80	59	57
	死亡数	男	1,433	145	132	105	115	125	109	109	127	98	103	136	129
		女	1,549	167	149	101	123	137	97	121	133	109	145	144	123
鳥取市	出生数	男	749	53	52	77	55	65	62	64	61	65	73	64	58
		女	693	71	50	51	46	57	48	73	66	57	73	55	46
	死亡数	男	1,100	106	91	95	104	91	100	90	65	71	87	108	92
		女	1,113	99	110	89	83	97	76	70	90	82	109	100	108
米子市	出生数	男	716	55	55	52	64	74	65	58	59	47	57	73	57
		女	605	54	50	62	48	46	53	48	61	42	57	44	40
	死亡数	男	798	92	70	62	75	69	53	61	70	52	57	73	64
		女	864	88	83	56	65	89	57	70	78	52	73	86	67

3 社会動態

(1) 市町村別社会動態

社会増減数は米子市、湯梨浜町及び日吉津村を除く市町で減少

社会増減数を市町村別にみると、米子市、湯梨浜町及び日吉津村を除く市町で減少した。

増加したのは湯梨浜町が74人（男性17人、女性57人）と最も増加し、次いで米子市が12人（男性-53人、女性65人）となった。減少したのは鳥取市が728人（男性358人、女性370人）と最も減少し、次いで倉吉市が181人（男性84人、女性97人）となった。

社会増減率（対1,000人比）は湯梨浜町が4.6%増加と最も高く、次いで日吉津村が2.5%となった。減少では智頭町が18.7%と最も高く、次いで江府町が15.8%となった。（図11-1、図11-2、表3、統計表第7表）

図11-1 市町村別社会増減数

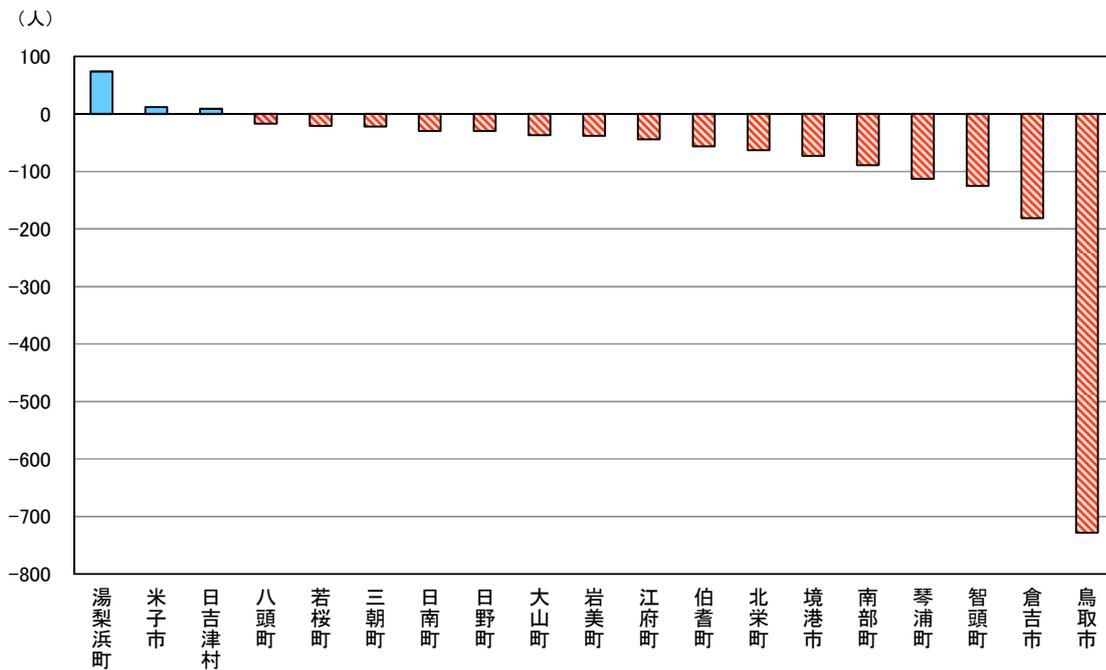


図11-2 市町村別社会増減率

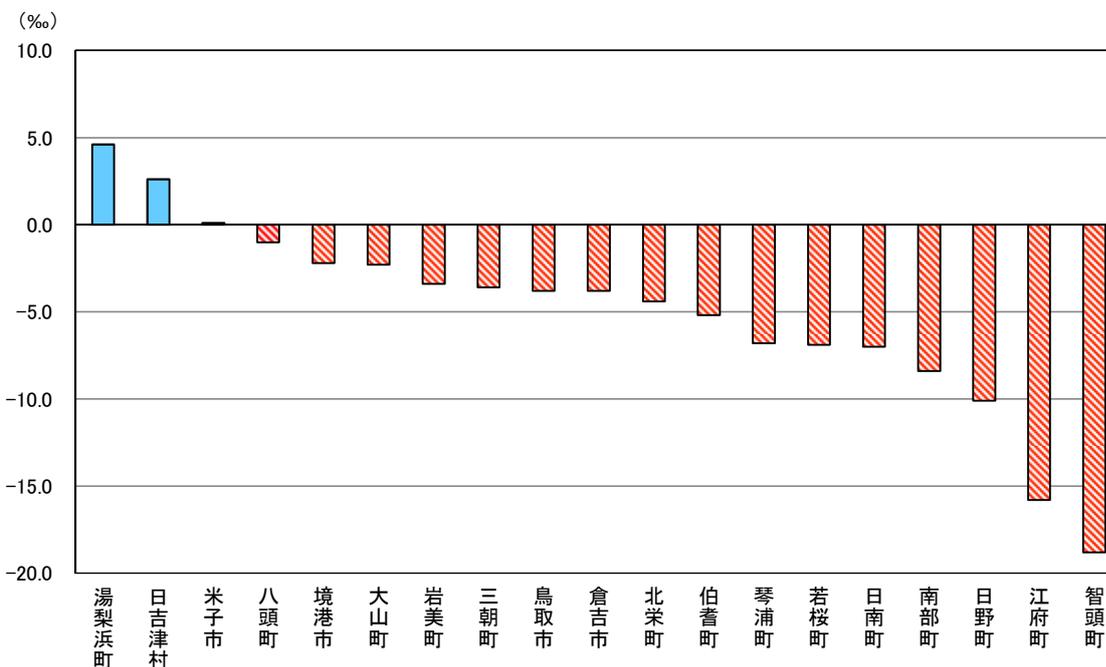


表3 市町村別社会動態

(単位：人)

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	10,037	11,609	-1,572	6,226	6,226	0	-1,572
東部地区	3,863	4,698	-835	1,770	1,864	-94	-929
中部地区	1,323	1,518	-195	1,496	1,606	-110	-305
西部地区	4,851	5,393	-542	2,960	2,756	204	-338
鳥取市	3,382	4,136	-754	1,299	1,273	26	-728
米子市	3,305	3,695	-390	1,767	1,365	402	12
倉吉市	706	758	-52	661	790	-129	-181
境港市	915	948	-33	353	393	-40	-73
岩美町	158	188	-30	171	179	-8	-38
若桜町	54	58	-4	32	49	-17	-21
智頭町	82	140	-58	43	110	-67	-125
八頭町	187	176	11	225	253	-28	-17
三朝町	71	92	-21	77	78	-1	-22
湯梨浜町	195	225	-30	340	236	104	74
琴浦町	219	258	-39	186	260	-74	-113
北栄町	132	185	-53	232	242	-10	-63
日吉津村	90	94	-4	124	111	13	9
大山町	192	215	-23	235	249	-14	-37
南部町	132	151	-19	157	227	-70	-89
伯耆町	89	148	-59	203	200	3	-56
日南町	56	53	3	44	77	-33	-30
日野町	35	45	-10	47	67	-20	-30
江府町	37	44	-7	30	67	-37	-44

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス（-）の場合は、転出超過を示す。

注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

(2) 県内移動

県内移動で最も多いのは鳥取市から米子市への482人

県内移動をみると、鳥取市から米子市への482人（男性283人、女性199人）が最も多く、次いで米子市から鳥取市への344人（男性212人、女性132人）であった。

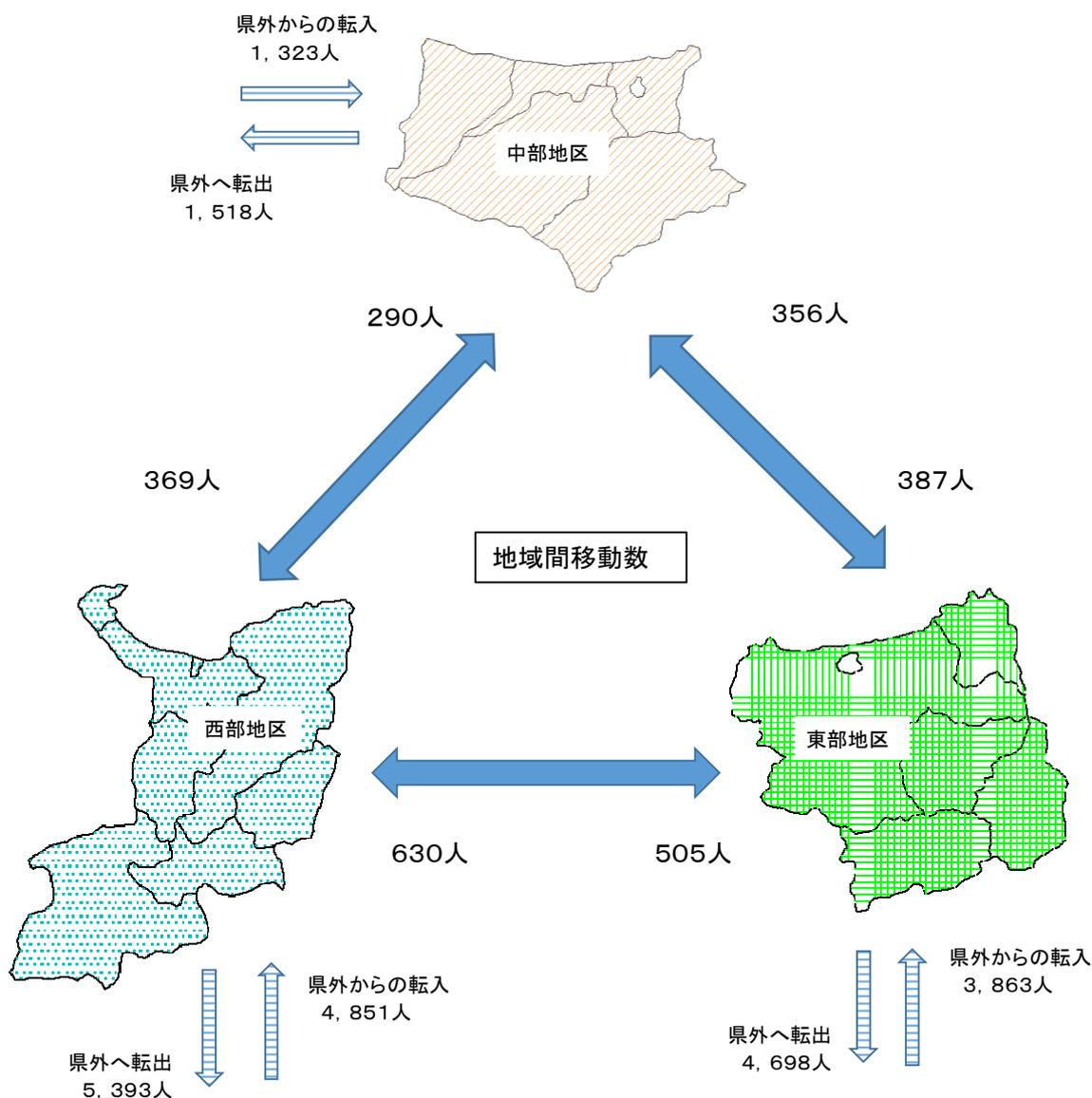
県内移動での転入超過は、米子市が402人（男性197人、女性205人）と最も多く、次いで湯梨浜町が104人（男性44人、女性60人）であった。

転出超過は、倉吉市が129人（男性47人、女性82人）と最も多く、次いで琴浦町が74人（男性33人、女性41人）であった。

また、県内移動を地域区分別にみると、東部から西部への630人（男性370人、女性260人）が最も多く、次いで西部から東部への505人（男性299人、女性206人）、中部から東部への387人（男性190人、女性197人）であった。

(図12、統計表第8表)

図12 地域別社会動態(H30年1月～H30年12月)



県外との社会動態(県全体)

県外へ転出 11,609人
 県外からの転入 10,037人

注) 地域間移動数は、地域内市町村間の移動者を含まない。

(3) 県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への715人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への623人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への715人(男性355人、女性360人)で、次いで大阪府から鳥取市への361人(男性199人、女性162人)であった。

また、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への623人(男性352人、女性271人)、次いで鳥取市から大阪府への528人(男性252人、女性276人)であった。

県外転入・県外転出での転入超過は、八頭町11人(男性-4人、女性15人)が最も多く、次いで日南町3人(男性8人、女性-5人)であった。

転出超過は、鳥取市754人(男性342人、女性412人)が最も多く、次いで米子市390人(男性250人、女性140人)であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では大阪府から431人（男性232人、女性199人）が最も多く、次いで兵庫県から429人（男性222人、女性207人）、中部では岡山県から163人（男性91人、女性72人）が最も多く、次いで大阪府から154人（男性70人、女性84人）、西部では島根県から917人（男性459人、女性458人）が最も多く、次いで大阪府から407人（男性222人、女性185人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ612人（男性292人、女性320人）が最も多く、次いで兵庫県へ536人（男性271人、女性265人）、中部では大阪府へ179人（男性85人、女性94人）が最も多く、次いで東京都へ167人（男性86人、女性81人）、西部では島根県へ848人（男性459人、女性389人）が最も多く、次いで大阪府へ487人（男性217人、女性270人）であった。（表4、統計表第9表）

表4 都道府県別県外転入・転出者数(上位市町村)

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,284	715	242	133	194	1,274	623	279	121	251
	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
大阪府	992	361	244	97	290	1,278	528	339	83	328
	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
岡山県	934	341	326	129	138	1,023	384	321	79	239
	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
兵庫県	781	352	195	54	180	963	461	241	54	207
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	日吉津村	その他
広島県	724	289	252	47	136	948	358	352	45	193
	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市・境港市	その他
東京都	684	243	197	70	174	1,102	413	315	92	282

(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者は倉吉市を除き20～24歳が最も多く、県外転出者は4市とも20～24歳が最も多い。

【鳥取市】

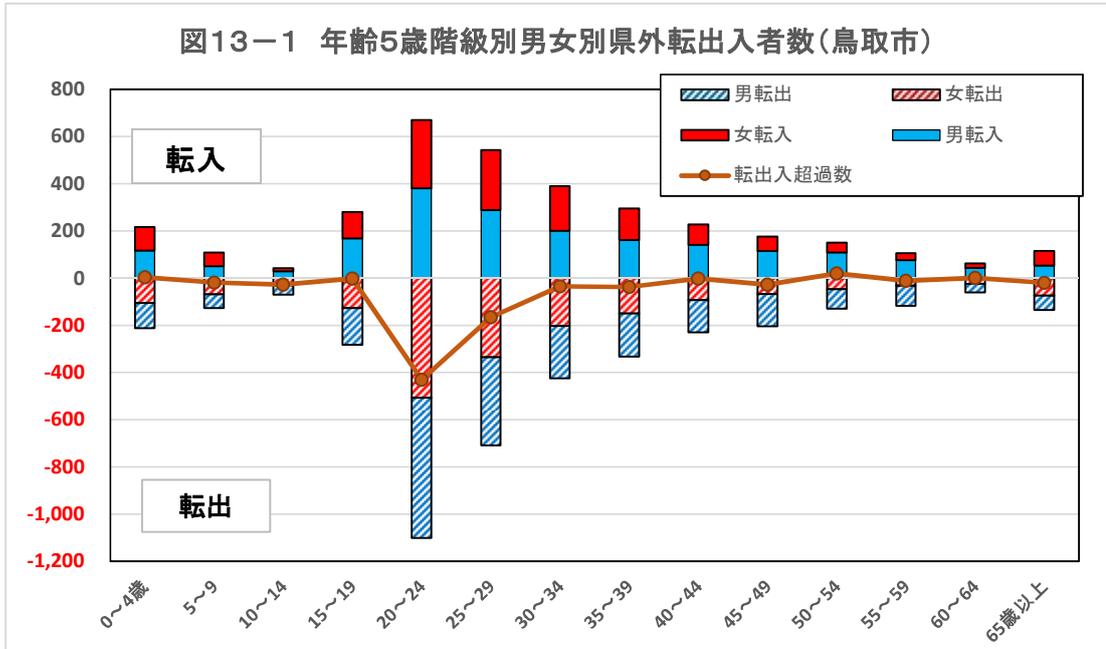
県外転入者は、20～24歳が670人（男性381人、女性289人、県外転入者総数に占める割合6.7%）と最も多く、次いで25～29歳が543人（男性288人、女性255人、同5.4%）となった。

県外転出者は、20～24歳が1,101人（男性594人、女性507人、県外転出者総数に占める割合9.5%）と最も多く、次いで25～29歳が709人（男性374人、女性335人、同6.1%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、50～54歳の20人（男性25人、女性-5人）が最も多く、次いで0～4歳の4人（男性10人、女性-6人）となった。

転出超過数は、20～24歳が431人（男性213人、女性218人）と最も多く、次いで25～29歳が166人（男性86人、女性80人）となった。（図13-1、統計表第10表）

図13-1 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(鳥取市)



【米子市】

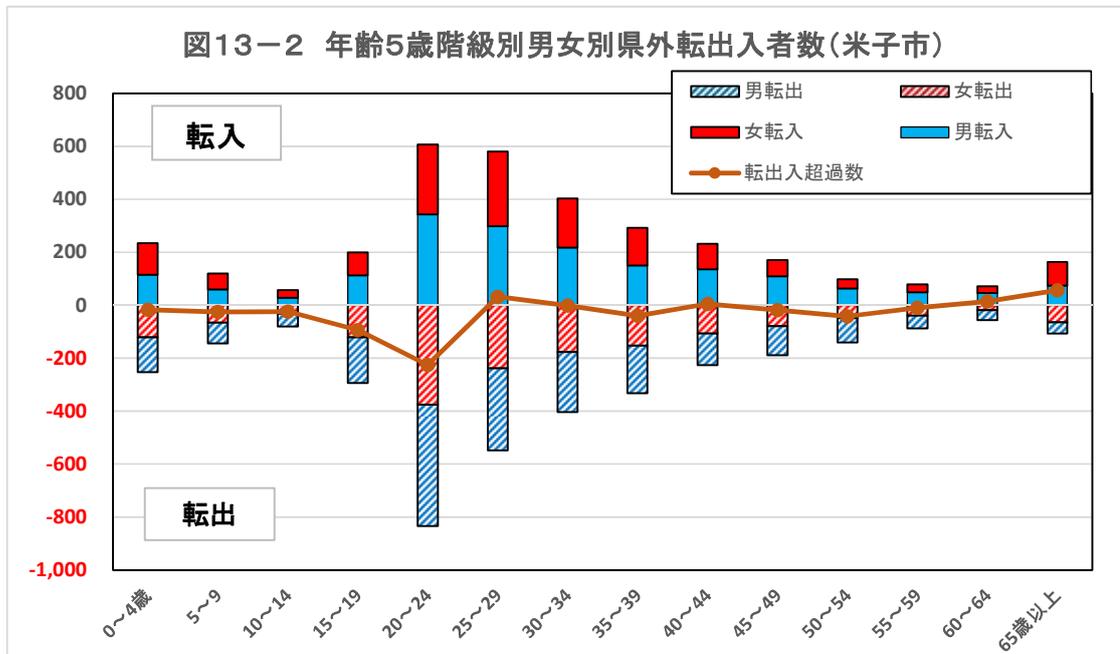
県外転入者は、20~24歳が607人（男性343人、女性264人、同6.0%）と最も多く、次いで25~29歳が580人（男性298人、女性282人、同5.8%）となった。

県外転出者は、20~24歳が833人（男性457人、女性376人、同7.2%）と最も多く、次いで25~29歳が548人（男性310人、女性238人、同4.7%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、25~29歳が32人（男性12人、女性44人）と最も多く、次いで65~69歳が24人（男性19人、女性5人）となった。

転出超過数は、20~24歳が226人（男性114人、女性112人）と最も多く、次いで15~19歳が94人（男性60人、女性34人）となった。（図13-2、統計表第10表）

図13-2 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(米子市)



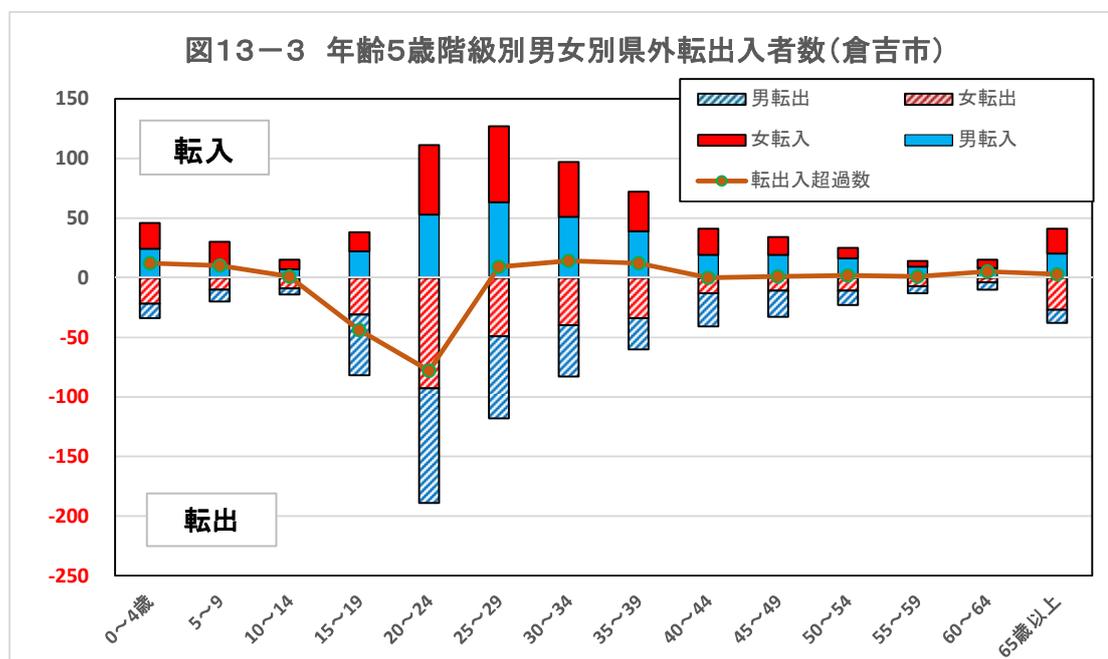
【倉吉市】

県外転入者は、25~29歳が127人（男性63人、女性64人、同1.3%）と最も多く、次いで20~24歳が111人（男性53人、女性58人、同1.1%）となった。

県外転出者は、20~24歳が189人（男性96人、女性93人、同1.6%）と最も多く、次いで25~29歳が118人（男性69人、女性49人、同1.0%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、30～34歳が14人（男性8人、女性6人）と最も多く、次いで0～4歳が12人（男性12人）及び35～39歳が12人（男性13人、女性-1人）となった。

転出超過数は、20～24歳が78人（男性43人、女性35人）と最も多く、次いで15～19歳が44人（男性29人、女性15人）となった。（図13-3、統計表第10表）



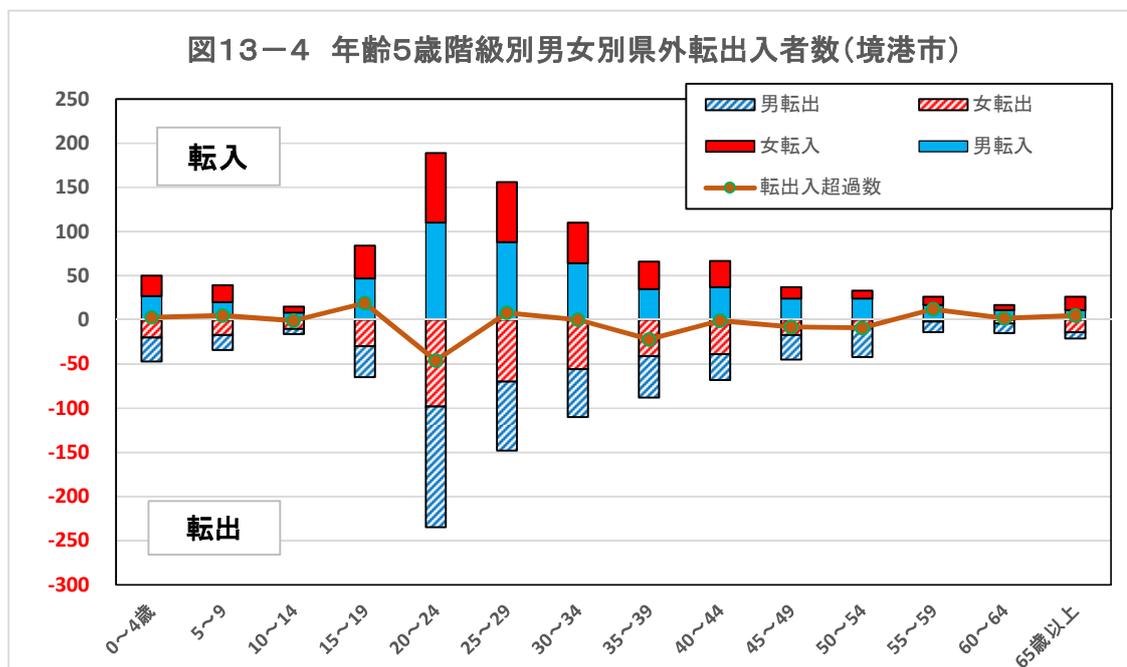
【境港市】

県外転入者は、20～24歳が189人（男性110人、女性79人、同1.9%）と最も多く、次いで25～29歳が156人（男性88人、女性68人、同1.6%）となった。

県外転出者は、20～24歳が235人（男性137人、女性98人、同2.0%）と最も多く、次いで25～29歳が148人（男性78人、女性70人、同1.3%）となった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、15～19歳が19人（男性12人、女性7人）と最も多く、次いで55～59歳の12人（男性5人、女性7人）となった。

転出超過数は、20～24歳が46人（男性27人、女性19人）と最も多く、次いで35～39歳が22人（男性12人、女性10人）となった。（図13-4、統計表第10表）



＜参考＞ 外国人の人口動態

1 自然動態

- ・出生数は18人（男性7人、女性11人）
- ・死亡数は15人（男性10人、女性5人）

2 社会動態

(1) 県内移動

- ・県内移動者数は106人（男性31人、女性75人）
- ・転入が最も多いのは倉吉市の25人（男性4人、女性21人）
- ・転入超過数は、米子市の11人（男性7人、女性4人）が最も多く、転出超過は、大山町の19人（男性11人、女性8人）が最も多い

(2) 県外転入・県外転出

- ・県外転入者数は1,500人（男性612人、女性888人）で、県外転出者数は1,102人（男性429人、女性673人）
- ・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の485人（男性246人、女性239人）で、次いで米子市の275人（男性133人、女性142人）
- ・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の389人（男性171人、女性218人）で、次いで境港市の152人（男性46人、女性106人）
- ・転入超過数で最も多いのは、米子市の146人（男性68人、女性78人）で、次いで鳥取市の96人（男性75人、女性21人）

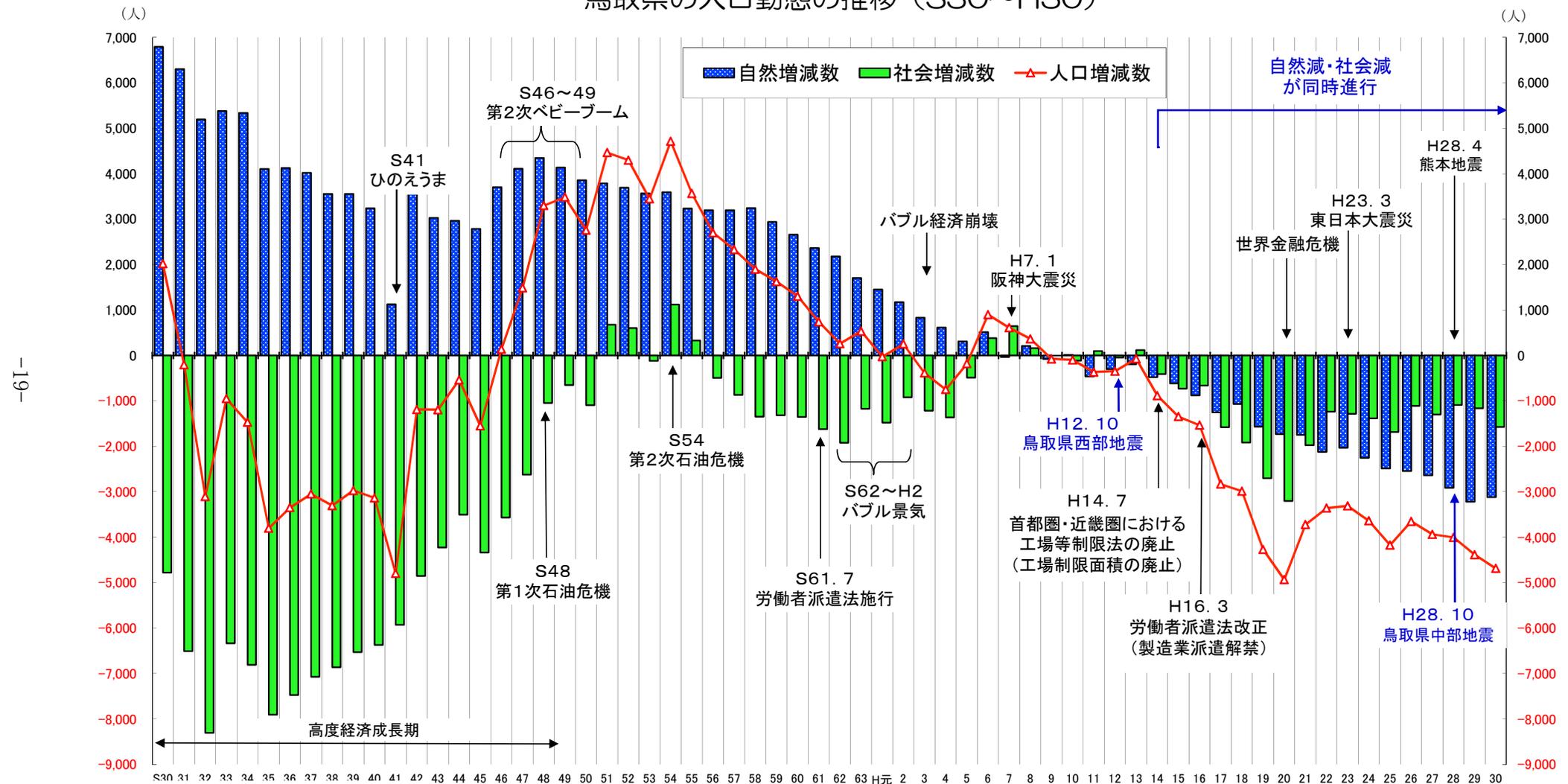
(表5)

表5 市町村別社会動態（外国人）

	県外							県内							社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数	
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
県計	1,500	612	888	1,102	429	673	398	106	31	75	106	31	75	0	398
東部地区	594	277	317	470	187	283	124	34	4	30	18	6	12	16	140
中部地区	279	69	210	197	68	129	82	45	10	35	53	6	47	-8	74
西部地区	627	266	361	435	174	261	192	27	17	10	35	19	16	-8	184
鳥取市	485	246	239	389	171	218	96	21	3	18	13	3	10	8	104
米子市	275	133	142	129	65	64	146	15	8	7	4	1	3	11	157
倉吉市	79	30	49	40	20	20	39	25	4	21	20	1	19	5	44
境港市	162	48	114	152	46	106	10	8	7	1	9	5	4	-1	9
岩美町	44	19	25	49	10	39	-5	9	1	8	0	0	0	9	4
若桜町	7	1	6	6	1	5	1	3	0	3	1	1	0	2	3
智頭町	21	3	18	16	3	13	5	0	0	0	2	1	1	-2	3
八頭町	37	8	29	10	2	8	27	1	0	1	2	1	1	-1	26
三朝町	31	10	21	30	11	19	1	3	0	3	2	1	1	1	2
湯梨浜町	37	8	29	30	9	21	7	11	2	9	2	0	2	9	16
琴浦町	106	12	94	64	16	48	42	5	4	1	19	0	19	-14	28
北栄町	26	9	17	33	12	21	-7	1	0	1	10	4	6	-9	-16
日吉津村	35	22	13	34	21	13	1	0	0	0	0	0	0	0	1
大山町	67	28	39	45	14	31	22	1	1	0	20	12	8	-19	3
南部町	39	21	18	35	21	14	4	0	0	0	0	0	0	0	4
伯耆町	16	3	13	22	1	21	-6	1	0	1	1	1	0	0	-6
日南町	10	10	0	3	3	0	7	0	0	0	1	0	1	-1	6
日野町	12	1	11	3	0	3	9	2	1	1	0	0	0	2	11
江府町	11	0	11	12	3	9	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1

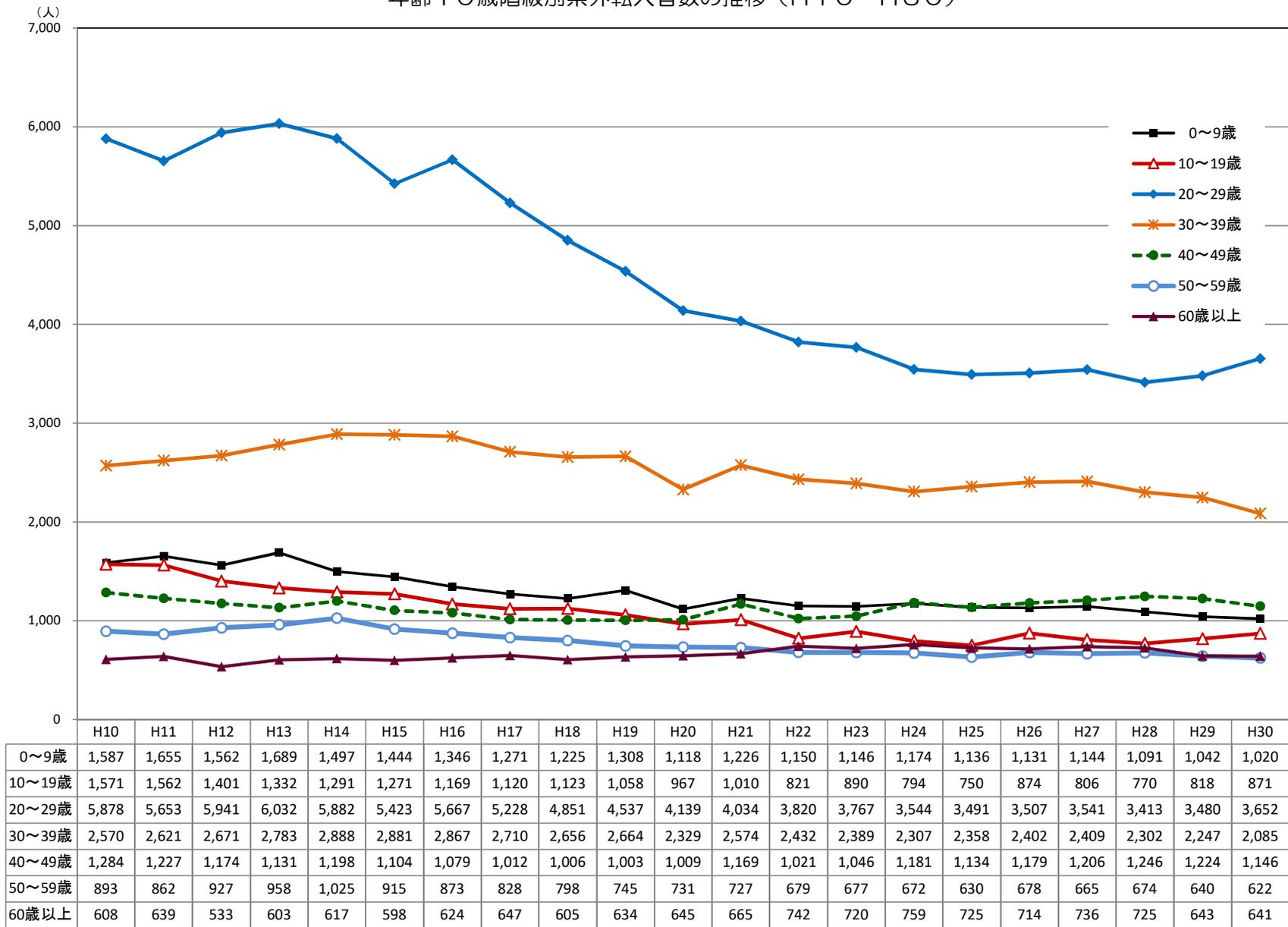
注) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

鳥取県の人口動態の推移 (S30~H30)

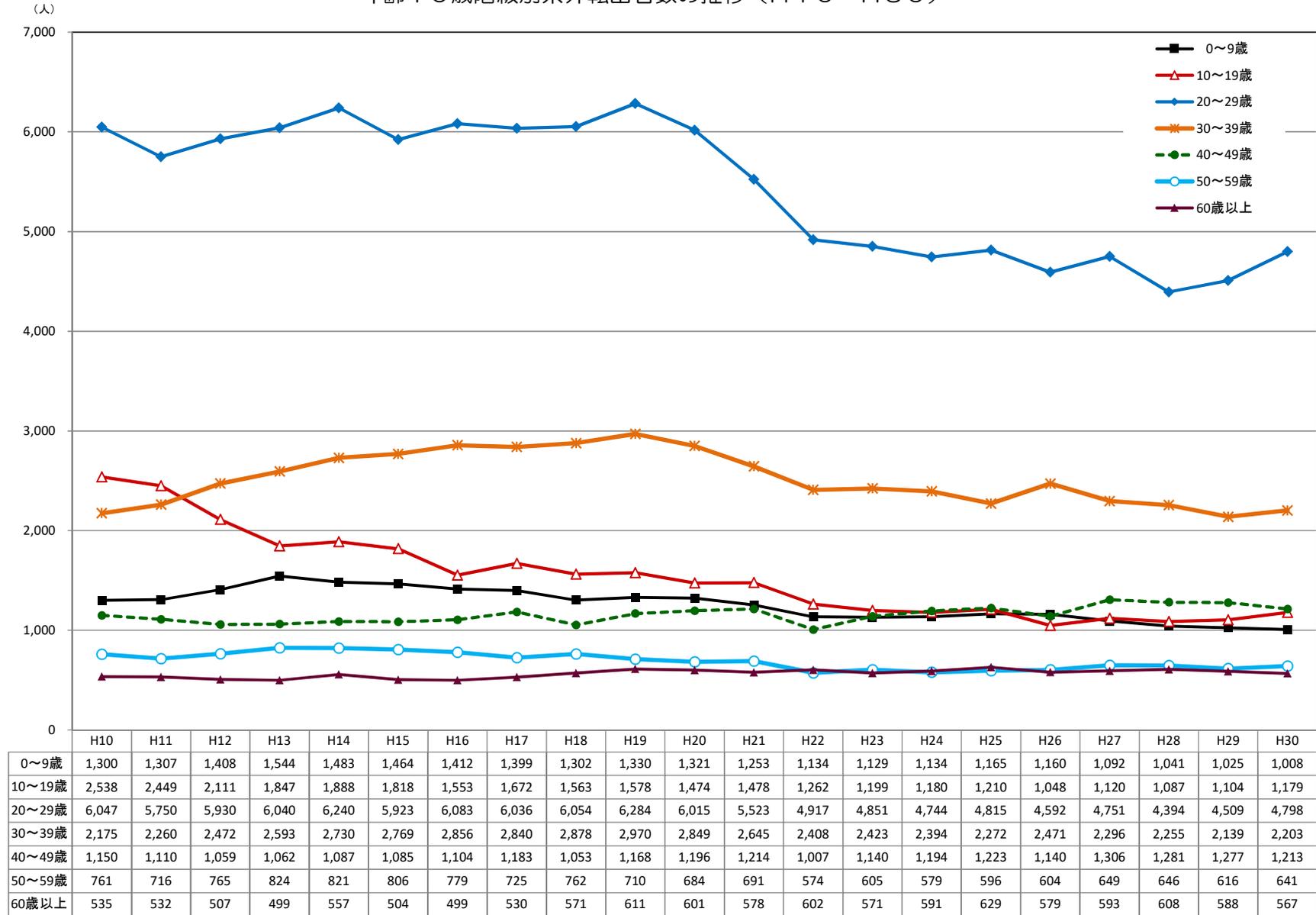


※グラフは、暦年 (1月~12月) の値

年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H10～H30）



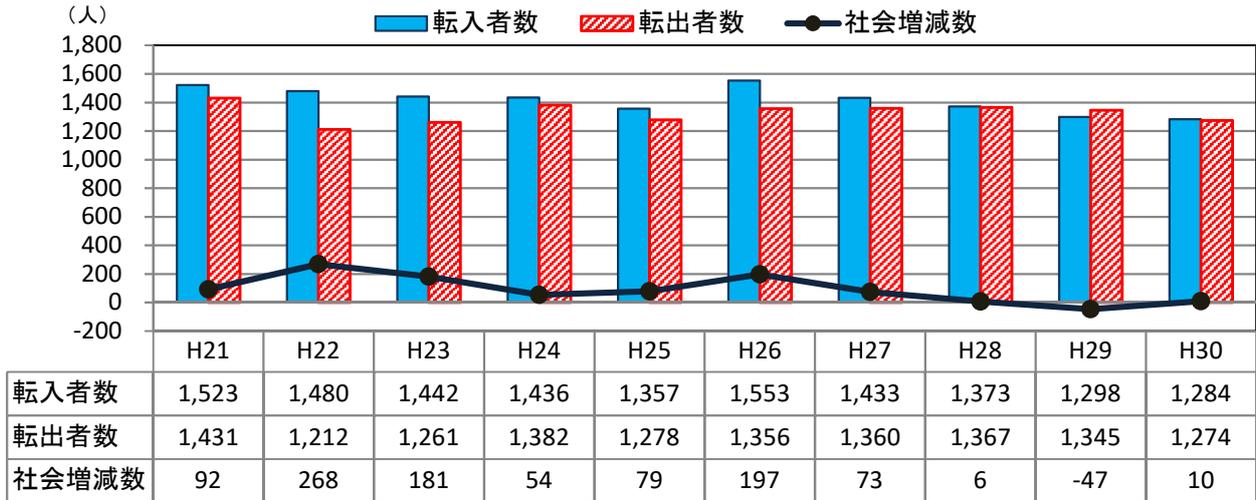
年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H10～H30）



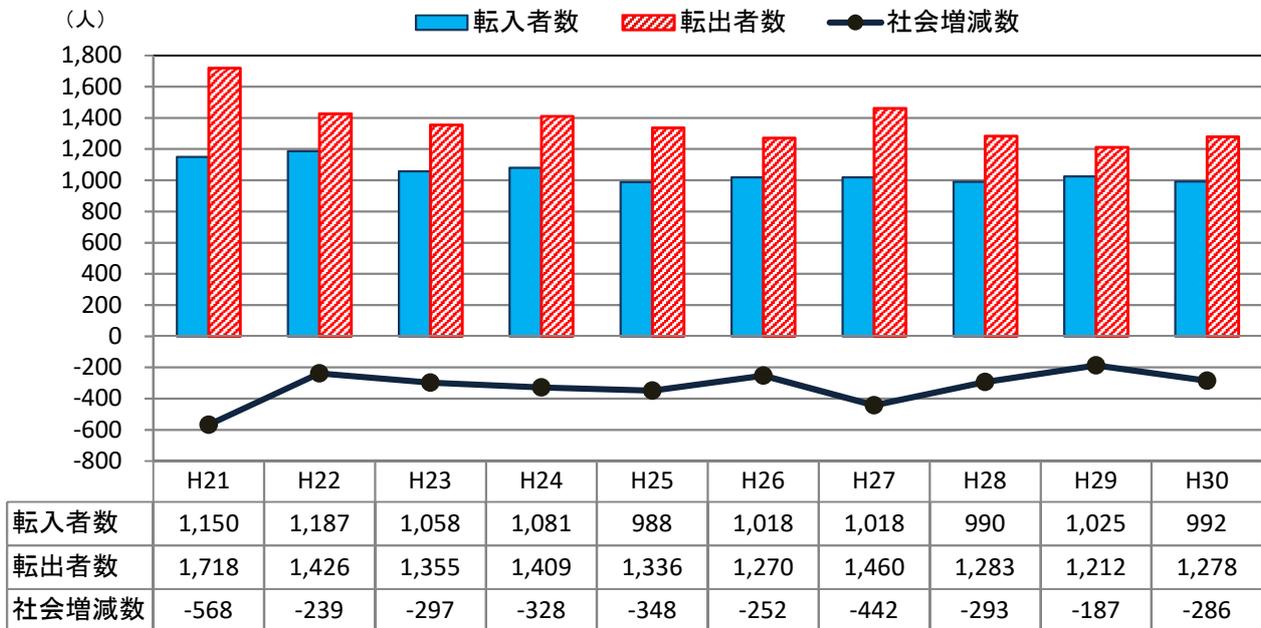
参考資料4

県外転出入者数の推移（平成30年移動者総数上位6都道府県）

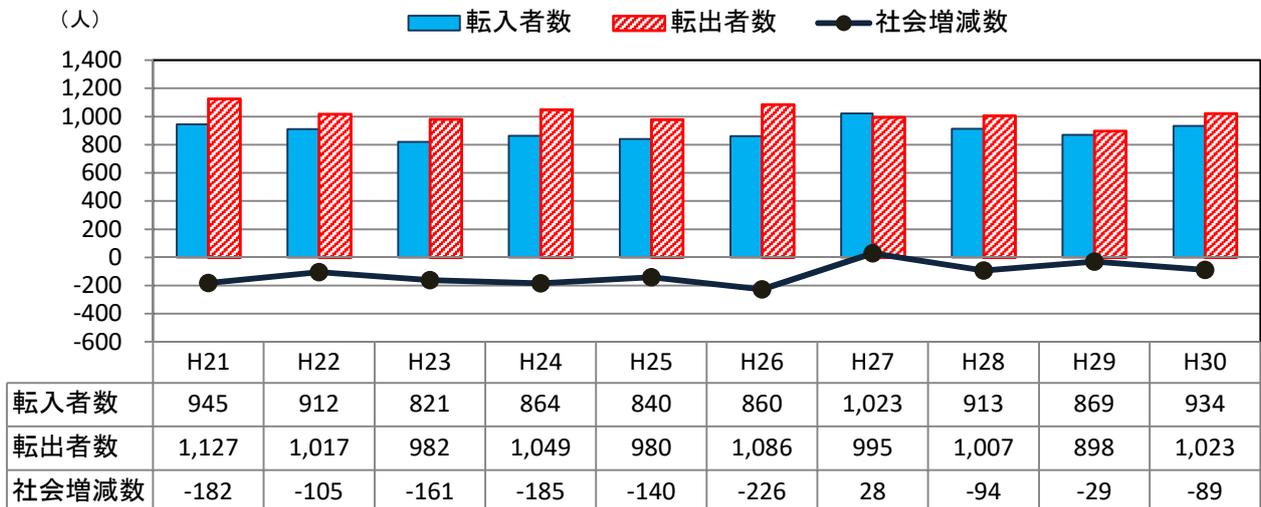
島根県からの転入、島根県への転出



大阪府からの転入、大阪府への転出

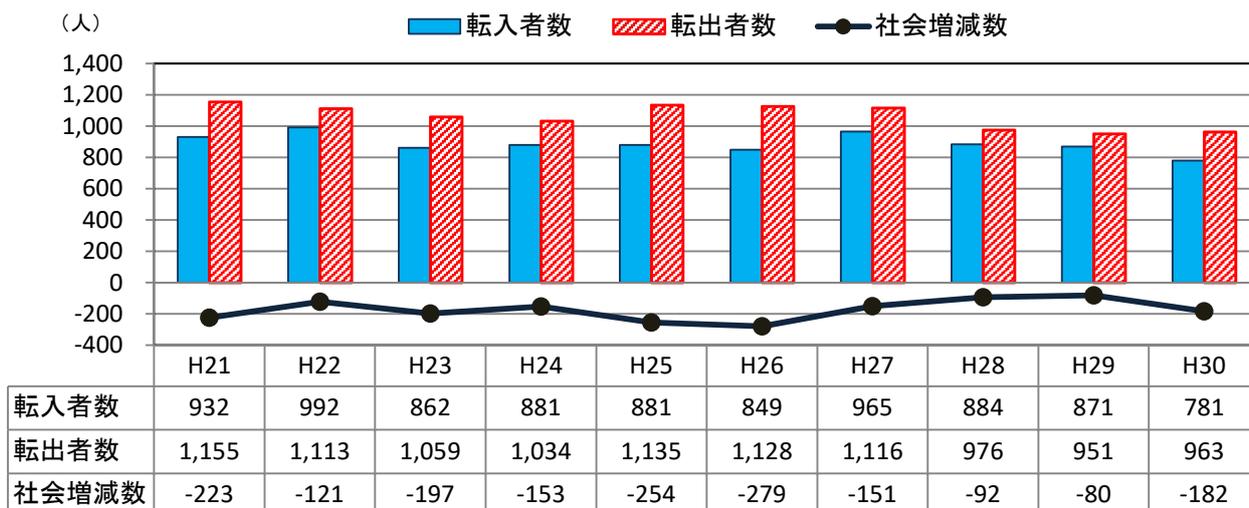


岡山県からの転入、岡山県への転出

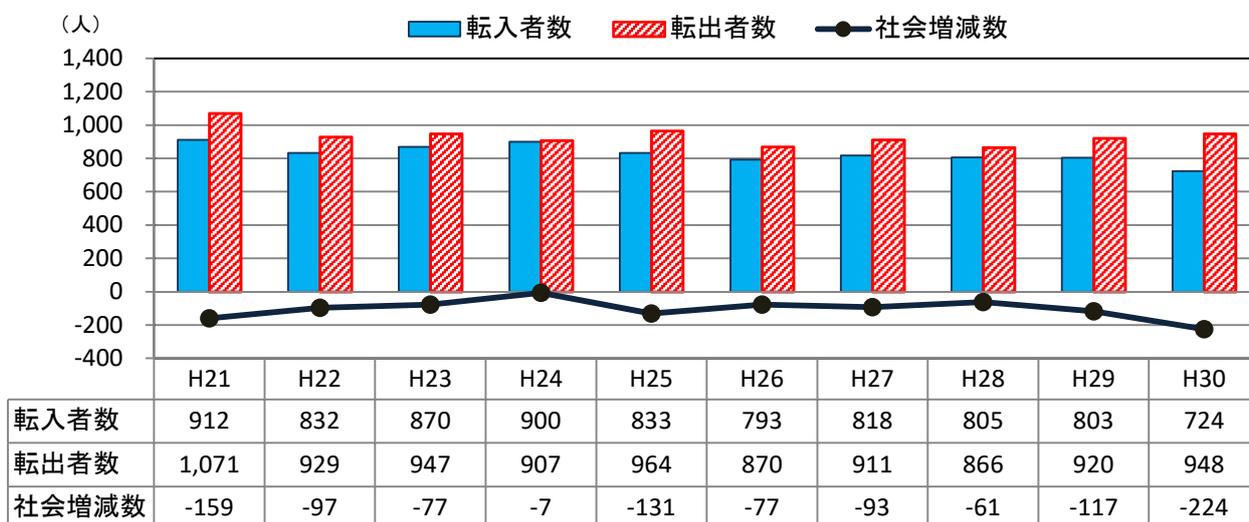


(注) 移動者総数＝転入者数＋転出者数

兵庫県からの転入、兵庫県への転出



広島県からの転入、広島県への転出



東京都からの転入、東京都への転出

